

「教員育成に対する理念および認定課程設置の趣旨等」

■教員養成に対する理念

経済学研究科経済学専攻の人材育成目的は次のとおりです。「経済学の高度な専門性をもち、正義と倫理をもった地球市民として活躍できる人間（「立命館憲章」）の育成に努めます。」この人材育成目的を踏まえ、経済学研究科経済学専攻では、本研究科で修得、養成した高度な専門性と高いコミュニケーション能力により、社会科学の基礎的な知識からさらに発展させた段階まで、中等教育段階の子どもたちにより深く理解させ、考えさせることのできる、授業力や児童生徒理解力、コミュニケーション力等を深く豊かに身につけた教員の養成を目指します。

■認定課程の設置の趣旨

● 中学校教諭専修免許状（社会）

経済学研究科経済学専攻では、経済学とその応用分野に関する高度な専門知識と分析能力を身に付けるとともに、経済社会に対する深い洞察力を養うことを目的としています。本研究科で修得する知識と分析能力とは、理論研究あるいは歴史研究を通して経済社会の本質に迫ることのできる高度な専門職業的知識と能力です。こうした経済社会の本質を見据える能力は、中学校（中等・前期）社会科教員に求められるより高度な専門性の1つであり、本研究科では、経済社会に関する基本的で広範な知識を中等・前期段階の生徒により深く理解させ、経済社会の諸課題を解決するための基本的な思考力を育てることのできる教員の養成が可能です。以上により、中専免（社会）教職課程を設置しているものです。

● 高等学校教諭専修免許状（公民）

経済学研究科経済学専攻では、経済学とその応用分野に関する高度な専門知識と分析能力を身に付けるとともに、経済社会に対する深い洞察力を養うことを目的としています。本研究科で修得する知識と分析能力とは、理論研究あるいは歴史研究を通して経済社会の本質に迫ると同時に政策提言ができる高度な専門職業的知識と能力です。本研究科では、経済社会に理論、歴史、政策という三つの柱を通して迫ることのできる能力、および経済社会のより複雑な仕組みや歴史的発展段階に関わる知識をもって、高等学校（中等・後期）の生徒が経済社会の動態を基本的な思考力で見据え、経済諸問題を発見し、経済政策的な思考力をも醸成することのできるような教育を行う教員の養成が可能です。以上により高専免（公民）教職課程を設置しているものです。

以上